

臨床検査技師新人(卒業生)への日臨技学生セッション

佐藤 元恭

日臨技九州支部 支部長

【はじめに】

一般社団法人日本衛生検査技師会(以下、日臨技)とは、全国の医療施設、検査センター、臨床検査関連企業、健診センター等で活躍している 57,000 名余りの臨床検査技師・衛生検査技師が加入している全国組織における職能団体である。

日臨技は 47 都道府県の技師会と連携して、臨床検査の学術や技術のスキルアップ、チーム医療への参画及び職域拡大等に取り組んでいる。学会では、全国学会として 7 支部の輪番制にて担当する「日本医学検査学会」、また各支部の「支部医学検査学会」が毎年開催されている。今年度においては、2016 年 8 月 31 日～9 月 4 日に日本では 28 年ぶりに「第 32 回世界医学検査学会」が神戸市にて開催され、並行して第 65 回日本医学検査学会も開催される(抄録作成:2016 年 6 月末)。

論文誌として、定期的に発行されている「医学検査」は、「J-STAGE」に登録されており学術誌として認められている。また認定技師制度として、「日臨技認定センター」が設置され、会員の技術レベル向上の目標として現在 8 つの検査領域における認定を担っている。さらに「日臨技認定機構」では、臨床検査における他団体・学会と協力して、血液、輸血及び微生物等の認定への協力を行っている。

その他として、精度管理事業、標準化事業、チーム医療推進、医療安全、国際交流及び医療人としての人材育成など、様々な事業に取り組んでおり、今後も我々の地位向上の一助となる事業推進が検討されている。

共済事業では、医療事故を補償する「臨床検査技師賠償責任保険」を導入し、全会員に加入されており、また日臨技・都道府県技師会の各種行事への参加・活動中の「傷害保険」にも対応している。会員個人で設定さ

れた様々な保険に任意に加入することもでき、それらの保険料は団体割引適用される。さらには、労務、法律及び税務関連等の無料相談窓口を設置するなど、会員の共済制度が充実されている。

【日臨技の組織・運営】

臨床検査技師・衛生検査技師の学術研鑽と発展、医療と公衆衛生の向上を図る事によって、国民の健康の保持、増進に寄与する事を目的に様々な活動に取り組んでいる。

《事業展開》

「学術部」、「渉外部」、「総務部」の 3 部門の事業を軸に事業展開している。

[学術部]

1) 医学検査学会・研修会の開催

- 日臨技医学検査学会(全国学会)を年 1 回開催
- 日臨技支部医学検査学会(7 支部:北日本、関甲信、首都圏、近畿、中四国、九州)を各支部において年 1 回開催
- 支部研修会の開催(専門分野別 9 部門)
- 都道府県技師会における各種研修会への助成制度

2) 生涯教育研修制度の運営

- 「基礎部門」:医療人としてのスキルに主眼
  - 「専門部門」:各種専門分野のスキルに主眼
- ※ 学会・研修会等における発表・参加に履修点数を付与し、履修開始年度から 5 年間で 1 サイクルとし、履修点数の合計が 200 点以上に達した場合はその年度で修了となり、次年度から次のサイクルを開始する。

3) 認定技師制度の運営

→ 各専門分野における技術・知識の習得に対する評価として、認定技師制度を運営している。

#### 4) 出版事業

- 医学検査、会報 JAMT、JAMT マガジン
- 一般・学生向け情報誌として季刊誌「Pipette」

#### 5) 精度管理・データ標準化事業

→ 「何時でも何処でも同じ検査結果を提供できる環境」を整える事を目標に事業展開している。

#### [渉外部]

##### 1) 政策調査課(日臨技事務局内)

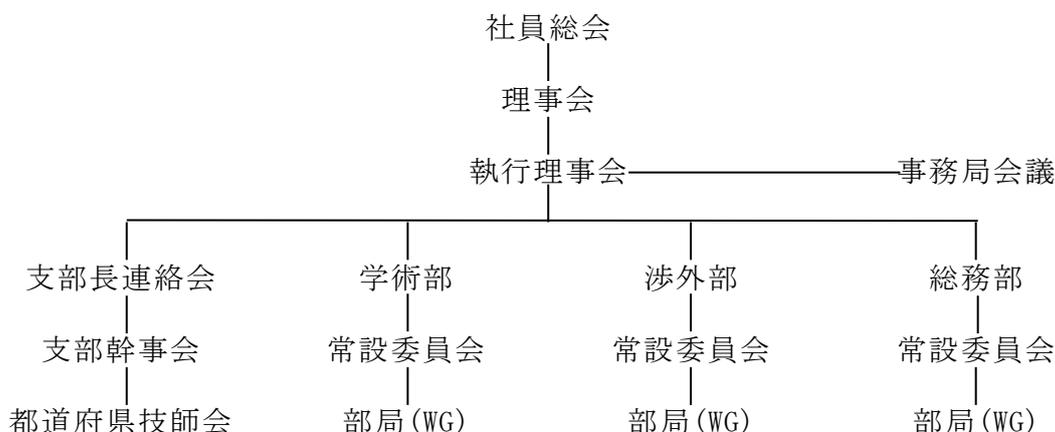
→ 医療施策に対する情報収集と実態調査によるデータ解析を実施し、医療政策 WG、診療報酬検討委員会、病棟業務検討委員会、メディカルスタッフ業務検証委員会などの活動を通して、「チーム医療推進」をキーワードに、業務拡大に向けて取り組んでいる

#### [総務部]

- 1) 会員管理、情報提供、新人研修会、地域ニューリーダー育成研修会、女性管理者研修会、会員意識調査など、組織強化に向けて様々な取り組みをしている。
- 2) 検査と健康展  
→ 11月11日の『臨床検査の日』に合わせ、全国47都道府県技師会主催で一般市民を対象に「検査と健康展」を開催し、検査の仕組みや健康管理の重要性について啓発活動を行っている。

##### 3) 福利厚生

業務中の賠償責任保険、会務中の傷害保険



#### 【日臨技の組織体制】

説明、さらには医療スタッフや患者からの検査相談など、臨床検査全般に関わりと責任を持ち、医療の診断・治療や患者の健康保持へ繋がる役割を果たさなければならないと考えられる。

#### 【おわりに】

少子高齢化に伴い、2025年・2035年に向けて厚生労働省は、医療機能分化や財源確保など、持続可能な社会保障制度を確立するために、「病院完結型」の医療から地域全体で患者を支える「地域完結型」の実現に向けて、地域医療連携や地域包括ケアシステムなどの大きな展開が行われている。

臨床検査技師の根幹は検査データの精度保証であり、迅速に臨床のニーズに合ったタイミングで情報提供をしなければならない。これからは、検体採取～検査実施～検査結果の解釈・検査結果の患者への